

はじめに

都を構えるに相応しいとされていました。 (咲き誇ります。三方を山々に囲まれ、南に木津川の緩やかな流れを配した地勢は、古代において京都府南部の木津川市瓶原地区は、風光明媚な田園風景が広がり、春には桜、秋には秋桜が美し

れば幸いです。 を刊行することといたしました。この冊子が、 期間の短さから「幻の都」とされていた恭仁宮の実像を、徐々にではありますが解明しつつあります。 の詔など、国の形、制度を整える重要な施策がなされ、国の首都としての重要な役割を果たしました。 短命に終わりましたが、 恭仁宮は国分寺へと造り変えられます。 ここ瓶原地区に恭仁京の中枢部分である恭仁宮を築きました。その後、 この度、 当教育委員会では、 いまから1300年前の天平12 (740) 年、 恭仁宮跡を皆様に詳しく知っていただくために『マンガ文化財入門 恭仁宮跡において昭和48年度以来、 その間には国分寺建立の詔や、墾田永年私財法の制定、さらには大仏造立 都としては、天平16(744)年までのわずか3年3箇月と 恭仁宮の成り立ちや地域の歴史を知るきっかけとな 当時の聖武天皇は、平城京から恭仁京に都を遷し、 調査を継続的に実施しており、 再び平城京に都は遷され 幻の都 恭仁宮編』 その存続

代の息吹を体感してみてください。 います。この冊子を読んで恭仁宮のことをもっと知りたいと感じられたら、ぜひ現地を訪れて、(1300年の時を経て、恭仁宮はその姿を失ってしまいましたが、現在も土の中に静かに眠っ 現在も土の中に静かに眠って 古

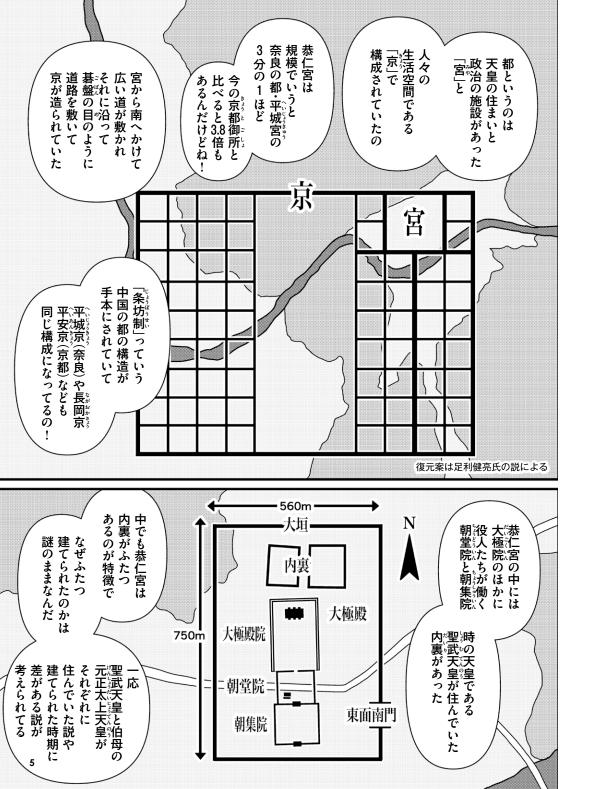
最後に、作画担当の漫画家・榎朗兆さんをはじめ、関係者の皆様の御協力に厚く御礼申し上げます。

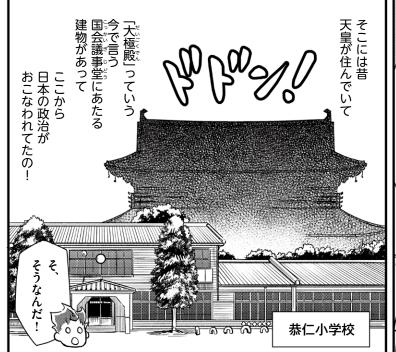
京都府教育委員会 教育長 前川 明範

完和5年1月









日本の中心だったんだ!1300年ほど前恭仁小学校の裏手は実はキミの通う

0 0

0



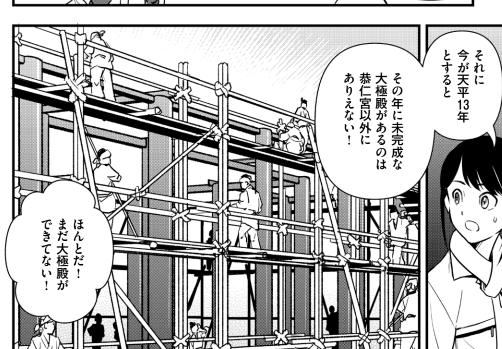


















ラまかい

デザ

(D)

麻呂

0

包まれてしまった 大変な不安に 社会全体が

権力を牛耳っていたその下で藤原四兄弟が聖武天皇が日本を治め

飢饉や地震 この時代は

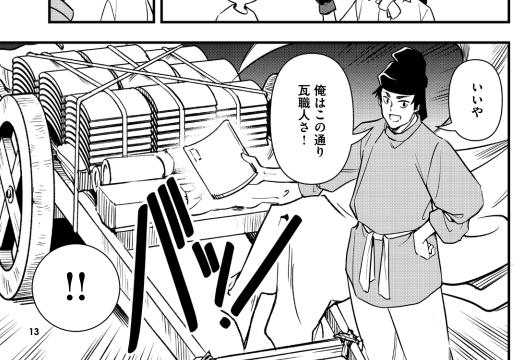
Who said

出していたの感染症が流行って そして天然痘という















たんだ して

恭仁宮に*幸す





しても







恭仁宮文字瓦?

だったわ… 現代の呼称 恭仁宮文字瓦は



| 瓦職人の名前で | ほとんどが | | |

「恭仁宮文字瓦」!! できたてホヤホヤのこれは

文字瓦って

(CT)







早く…





天平16年(74年)

1 月

天平17年(745年)

18



恭仁宮関係年譜

(『続日本紀』より抄出)

元 号	西暦	月日	概 要
天平12年	740	11~12月	この頃、聖武天皇は伊賀国・伊勢国・美濃国・近江国へと行幸
		12月15日	恭仁宮に行幸し、はじめて京都を作る。太上天皇皇后後にあって至る
天平13年	741	正月1日	聖武天皇行幸先の恭仁宮で元日の年中行事「朝賀」を行う
			宮垣が未完成だったので、かわりに帷をめぐらせるなどの工夫をする
		正月11日	伊勢神宮と全国の諸社に恭仁京へ遷都したことを報告
		3月24日	国分寺建立の詔を発する
		8月28日	平城京にあった東市・西市を恭仁京へと遷す
		10月16日	がませま 賀世山の東の河に造っていた橋が完成
		11月21日	天皇は新しい宮を「大養徳恭仁大宮」と名付ける
天平14年	742	正月1日	大極殿が完成していないため、四阿を仮設して、朝賀を行う
		2月5日	新羅から使者が来日したが、新京が完成していないため、大宰府で もてなし、送り返す
			「恭仁京東北道」という、近江国甲賀郡まで通る道を築く
		8月~	聖武天皇はこの頃から時折、甲賀の紫香楽村へ行幸する
天平15年	743	正月3日	紫香楽宮で年を越したので、恭仁宮に帰ってきてから朝賀を行う
		5月27日	墾田永年私財法を発する
		10月15日	大仏造立の詔を発する
		12月24日	平城宮に置いてあった軍器・儀仗を恭仁宮に運び込む
		12月26日	紫香楽宮の造営を行うことになったので、恭仁宮の造営を停止
天平16年	744	閏正月1日	臣下達に、「恭仁・難波のどちらを都として定めようか」と意見を募ったところ、恭仁と言う者が181人。難波と言う者は153人であった
		閏正月4日	市の人達に問うたところ、皆恭仁を都とすることを願ったが、ただし 難波を願う者が1人、平城を願う者が1人いた
		2月1日	恭仁宮から難波宮に駅鈴・内印(御璽)・外印(太政官印)を取り寄せる
		2月20日	恭仁宮から難波宮に高御座・大楯・器仗なども運びこむ
		2月21日	恭仁京に住まう百姓で、難波宮に移り住みたい者には移住を許した
		2月26日	難波宮を皇都とすることを宣言
天平17年	745	6月頃	再び平城京を都とする
天平18年	746	9月29日	廃都となった恭仁宮の大極殿を山背国分寺に寄進







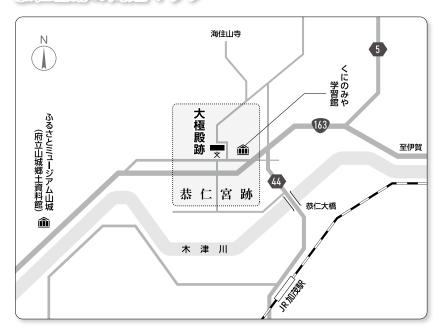


恭仁宮 大極殿跡(撮影:写房楠華堂)



恭仁宮式文字瓦の破片(撮影:写房楠華堂)

恭仁宮跡の周辺マップ



交通

JR加茂駅まで

- JR奈良駅から約15分(加茂行き)
- JR京都駅から約1時間(奈良行き 木津駅で乗り換え)
- JR天王寺駅から約50分(加茂行き)

恭仁宮跡出土遺物がみられる資料館

ふるさとミュージアム山城(府立山城郷土資料館)

〒619-0204 木津川市山城町上狛千両岩/TEL:0774-86-5199

[開館時間] ……午前9時~午後4時30分

[休館日] ……毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)・年末年始(12月28日~1月4日)

- ●京都府南部の特色ある歴史と文化を、考古・歴史・民俗の各分野で展示・公開しています。
- ●マンガにも登場した恭仁宮跡出土の瓦や土器などを常設展示しています。

くにのみや学習館

〒619-1103 木津川市加茂町岡崎考28番地/TEL:0774-76-9202

[開館時間]……午前9時~午後5時

[休館日]……毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)・年末年始(12月28日~1月4日)

● 恭仁宮の再現ビデオ(DVD)上映や発掘調査などにより出土した瓦や土器等の展示等を行っています。



マンガ 文化財入門 幻の都 恭仁宮編

2023年1月第1版第1刷発行

●発行:京都府教育委員会 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町/TEL:075-414-5903

●作画:えのきろうちょう

●監修:京都府教育委員会文化財保護課

●編集:京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室

※本冊子は京都府と京都精華大学との包括協定をもとに制作しました。

※本冊子のコピー・スキャン・デジタル化などの無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

© 2023 京都府